



## 「将来社会で働くために」 中学部の取組

中学部主事 堅持 タ子



「将来働くために必要な力は何ですか?」このような質問を受けることがあります。社会参加の形は人それぞれなのでこれだと答えることは難しいのですが、仕事をする力を付けることだけでなく、自分の楽しみや活動への充実感などを得られることも併せて考えていくことが必要ではないかと考えています。そのためには、中学部段階から自分は将来どんな生活をしたのかをイメージしていくことが大切です。もちろん一人で考えることは難しいので、家族や担任と話し合ったり、相談したりしながら、少しずつ具体的にして周囲の人と共有していきけるとよいと思います。

中学部は、小学部で身に付けた力をもとに、様々な経験を通して幅を広げていく段階と捉えています。その中で、生徒に頑張してほしいこととして、「あいさつ」「協力」「全力」という三つのことを伝えています。「あいさつ」は、明るく元気な挨拶ができるように、様々な場面で取り組んでいます。「協力」については、友達と活動する場面を多く設定し、一緒に活動する楽しさ、一緒に取り組んでできたという達成感を味わえるようにしています。「全力」は、力いっぱい取り組んでみることです。一人一人に合った活動や課題に全力で向かうことで、充実感を味わい、もっとやってみようという気持ちが出てきます。このような経験の積み重ねが、働くこと、社会参加につながっていくのではないかと感じています。

中学部になると作業学習が始まります。体力や集中力、態度など、働くために必要な力について一人一人の目標を立てて取り組んでいます。中学部段階では、働く喜びや一緒に活動する楽しさを感じることを、やってみようという気持ちをもてるようにすることも大事にしています。それは他の学習でも同じです。

様々な学習を通して、一人一人のよさを知り、楽しかったこと、できるようになったことを共に喜び合い、一緒に将来の生活をイメージしながら次の段階につなげていきたいと考えています。



## 第1回「横手支援学校さ、来てきてたんせ!ウィーク」

6月20日、22日の2日間、「第1回横手支援学校さ、来てきてたんせ!ウィーク」を行いました。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止になったり参加者を制限したりして行っていましたが、今回は特に制限なく実施することができました。一般企業の方、行政の方、福祉事業所の方など、計57名の方々が横手支援学校の生徒の学習の様子を見に来てくれました。見学の後にはアンケートで感想をいただきましたので、ご紹介します。

### 〈中学部〉

- ・生徒一人一人が目的・目標を明確にして活動しているところがとてもよいと思いました。
- ・作業に集中して真面目に取り組んでいてとても感心しました。
- ・調理実習を見学したが、役割をもった生徒たちが生き生きとしていると感じました。
- ・普段はなかなか見られない様子を見ることができてうれしかったです。何より生徒が楽しそうに活動している姿を見ることができてよかった。

### 〈高等部〉

- ・作業手順の徹底と安全に配慮した環境作りで安心して取り組んでいる様子が印象的でした。
- ・生徒たちが自分の考えを積極的に発表し、楽しそうに取り組んでいて素敵な光景でした。
- ・廊下などに生徒さんたちが作った作品がたくさんあった。学校のあたたかい雰囲気を感じる事ができ、とてもよかった。
- ・一つ一つ丁寧に一生懸命取り組む姿に感動しました。地域で活躍できるよう、行政機関としてサポートしていきたいと思えます。

第2回「来てきてたんせ!ウィーク」は11月に実施予定です。たくさんの地域の方に児童生徒のがんばりを見てもらえるように呼びかけていきたいと思えます。

## 技能競技大会

7月5日(水)、秋田市にぎわい交流館AUにて、第22回秋田県障害者技能競技大会が開催されました。本校からは高等部3年奥山心美さんが、喫茶サービス部門に参加しました。放課後の練習では声の大きさや明るさ、お客さんへの視線の配り方など、細かい部分まで何度も練習を重ね、本番に臨みました。結果は、惜しくも入賞とはなりませんでしたが、これまでで最高の競技でした。

技能競技大会への参加は、職業生活にふさわしい言葉遣いや態度を身に付けることができ、社会人としての生活に生かされます。

心美さんに続く、今後の高等部生徒の活躍に期待します。



## 移行支援ネットワーク会議

7月11日(火)に、高等部体育館を会場に、第1回移行支援ネットワーク会議が行われました。横手公共職業安定所、横手市社会福祉課、ネット横手障害者就業・生活支援センター、相談支援機関の方々に参加いただき、高等部3年生が自己紹介や将来の生活の希望や目標について発表しました。また、現在感じている将来への不安や疑問について関係機関の方々に質問をし、アドバイスをいただきました。後半は、保護者の方に向けて、就労に必要な手続きの流れや障害福祉サービス利用の手続きについての説明がありました。また、保護者の方からは、各相談支援事業所の特色などについて質問があり、回答をいただきました。

卒業後の生活に向けて、自分たちをサポートしてくれる関係機関の方々を知り、また、自分たちを知ってもらうことができました。それぞれが自分の思い描く将来の生活を実現できるように、今後取り組んでいきます。



## 福祉事業所等合同説明会

7月11日(火)に、高等部体育館・会議室を会場に、令和5年度福祉事業所等合同説明会を開催しました。横手公共職業安定所、横手市社会福祉課、ネット横手障害者就業・生活支援センター、横手市内の福祉事業所、相談支援機関の方々に参加いただきました。第1部では、横手市社会福祉課より福祉サービスの利用の流れについて詳しく説明をいただきました。第2部では、各事業所との情報交換ということで、保護者、職員が各事業所のブースを回って、活動内容や、定員、事業所の特色などについて質問をしたり、説明を受けたりしました。直接事業所の方々から話を伺える機会ということで、みなさん積極的に動いて話を聞いていました。

